

2022年度 第5回OR学会理事会 議事録

日時：2022年12月19日(月)17:00～18:15

場所：中央大学とオンラインのハイブリッド開催

出席理事(対面)：田村，鳥海，所，鶴飼(遅刻)，後藤

出席理事(オンライン)：山上，猿渡，山下，奥田，木庭，野々部，田中，堀(途中退出)，山田

出席監事：松林(オンライン)，三嶋

庶務幹事：高澤(書記，オンライン)

事務局：長谷

欠席者：牧野，辻野，塩野

【審議事項】

A-1 前回議事録確認(鳥海庶務理事)

鳥海庶務理事より前回議事録の確認があり，承認された。

A-2 入会・退会承認の件(鳥海庶務理事)

鳥海庶務理事より入退会の状況についての説明があり，承認された。

前回理事会で報告することが決まった，会費を1年以上滞納している会員リストが鳥海庶務理事より報告された。会員リストは取扱注意資料とした上で，理事で共有されることになった。

A-3 シニア会員承認の件(鳥海庶務理事)

鳥海庶務理事よりシニア会員の申請についての説明があり，承認された。

A-4 2022年度近藤賞の件(近藤賞選考委員長)

田村副会長より，第9回近藤賞の選考結果について説明があり，選考委員会で推薦された候補者に近藤賞を授与することが承認された。鳥海庶務理事より，近藤賞受賞者の記念講演の開催時期に関する質問があり，山下研究理事から2024年度春季研究発表会で執り行う方向で調整するとの回答があった。

A-5 2023年度新フェロー候補者推薦の件(フェロー会議議長)

田村副会長より，フェロー会議の結果，2023年度新フェロー候補者として5名を推薦することが説明され，承認された。

A-6 2022年度第2回ORセミナー実施報告(堀普及理事)

堀普及理事により，ORセミナーの実施内容・収支結果について説明があり，承認された。

A-7 2023 年度の普及関連事業について（堀普及理事）

堀普及理事より、2023 年度の普及関連事業の実施内容(OR セミナー・企業事例交流会・企業事例特集号等)について概要及び予算案の説明があり、承認された。

A-8 2023 年度支部事業費の件（研究理事）

山下研究理事より、支部事業費を申請のあった 4 支部に配分することが提案され、承認された。支部事業費の総額については、本年度第 3 回理事会で承認されていることを確認した。

A-9 PHMAP23 の協賛について(研究理事)

山下研究理事より、PHMAP23 への協賛について説明があり、承認された。鶴飼国際理事より、開催期間が 2023 年度秋季研究発表会と重なっていることが指摘され、今後の協賛では OR 学会の重要な行事と日程が重なっているか確認することとした。

A-10 職員就業規則改定の件(鳥海庶務理事)

鳥海庶務理事より慶弔見舞金規程を現在の職員就業規程に統合することの説明があり、承認された。

【報告事項】

B-1 OR セミナー実施手順の改定について(普及理事)

堀普及理事より、OR セミナーの実施手順の改訂(特にイレギュラーな申し込み方法への対応)について報告された。

B-2 2023 年度予算案 1 次集計結果(会計理事)

後藤会計理事より、予算案の集計結果が報告された。山上会長より、次年度予算案の比較対象として当該年度の実績を用いることが望ましいという意見があった。鳥海庶務理事より、12 月理事会の時点では第 2 四半期までの実績しか示せない可能性があることが回答された。

B-3 中部支部の表彰規程について(研究理事)

山下研究理事より、中部支部において論文賞を新設することによる論文賞表彰規程の新設と、学生論文賞表彰規程の改訂に関する報告があった。

B-4 現在の事務局体制について(鳥海庶務理事)

鳥海庶務理事より、事務局職員の退職・補充等について報告があった。これまで経理担当を非常勤職員 1 名で担っていたが、複数名のパート職員で担うことを検討しているとのことであった。また、事務局職員が不慣れであることから、理事に対して事務局の負担軽減に関する協力依頼があった。

B-5 次回理事会の件(鳥海庶務理事)

鳥海庶務理事より第6回理事会の日程・議案について説明があった。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
2022年度第5回理事会
議事録署名人

議長(会長) 代表理事 山上 伸

(副会長) 代表理事 田村 明久

(副会長) 代表理事 山田 昭雄

(副会長) 代表理事 猿渡 康文

監事 松林 伸生

監事 三嶋 英俊